

キャラクター名
一条 ヤマト(いちじょう やまと)

プレイヤー名

シンドローム	バロール モルフェウス		ワークス	UGN支部長B	カヴァー	UGN支部長
	オプション		年齢	32	性別	男
覚醒	死	衝動	破壊	初期侵食率	34	%
出自	名家の生まれ	経験	UGNへの忠義	邂逅	家族：神城早月	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	10
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	2	0	0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
鉄拳(素手)	白兵	1r				
ガード(4+5)@~99		0				ガード値 22+1D
ガード(4+5)@~160		0				ガード値 26+1D
装甲@~99		0				装甲 15

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：UGN幹部 情報収集チーム	
コネ：研究者 携帯電話	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ マス	消費
神城早月	P 好意	N 不安		
博士	P 信頼	N 不安		
	P 尽力	N 脅威		
	P 庇護	N		
	P 庇護	N		
	P 庇護	N		
	P 信頼	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
アーマークリエイト	5	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果：	防具を製作。種別:防具、ドッジ行動:0、装甲値:[5+LV×2]							
シールドクリエイト	5	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果：	ガード[LV×2+4]白兵。攻撃命中0							
斥力障壁	4	2	オート	視界	単体	自動		
効果：	ダメージ-[1D+LV×2] 1ラウンドに1回							
孤独の魔眼	2	4	オート	視界	範囲、範囲選択	自動		
効果：	攻撃対象を自分1人にする。1シナリオにLV回							
暗黒螺旋	2	3	オート	至近	自身	自動		
効果：	白兵攻撃ガードで相手にlv×5の攻撃。1ラウンドに1回。							
砂の境界	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果：	1メインプロセスに1回庇う。行動済にならない。							
吸着	1		常時	至近	自身			
効果：	重力操作で手に持つすべての物体を落ちないようにする。髪の毛や服をなびかせることができる。							
ディメンションゲート	1	3	メジャー	至近	自身/他			
効果：	遠く離れた自分が知ってる場所に繋がるゲートを作り出す							
壁抜け	1		メジャー	至近	自身			
効果：	密室や閉鎖空間、壁などの障害物を無視して移動できる							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

黒髪オールバック、黒ライダージャケット、黒のパンツ、首元には赤いスカーフを巻いた男
義理堅く仲間を大切にしている性格。
スオウ支部の支部長。
名家である一条家、三兄弟の末っ子。

シンドロームはバロールとモルフェウス
ピュアブリードであったが現在はクロスブリード

バロール→重力の力で敵を拘束、ガードして仲間を守る
モルフェウス→変身し肉体をガード

俺は死んだはずだった。目を覚ますと手足を繋がれ手術台のようなところに寝かされていた。
生きている事にも驚いたがそれよりも自信の体が何かおかしい。
「手術は成功した」
周りにいた研究者らしきヤツらが言っていた。俺の意識はそのまま途切れた――

事故で死んだ事により能力が覚醒。
覚醒し生き返るも、前々からヤマトに目を付けていた悪の組織により
意識が覚醒するより前に改造手術を受けることとなる。
元々バロールのみの身体にモルフェウスの能力を移植するという改造手術を。
手術後、脳を少し弄られた事により洗脳状態のまま能力実験を1年ほど行っていたが
組織のとある博士(組織に無理やり連れてこられ手伝いをさせられていた)により洗脳が解かれ、脱出を図っていたところに